

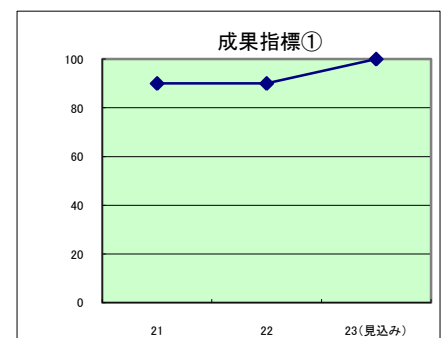
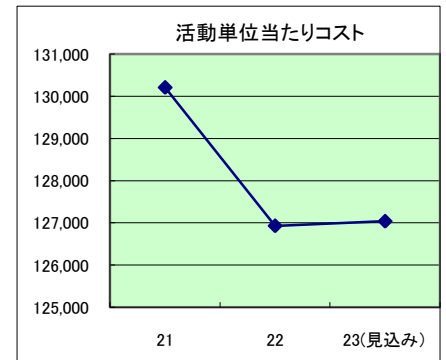
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

保子15

事務事業名		公立保育所運営事業		予 算 科 目	会計	1	一 般 会 計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち		款	3	民生費	
	施策(節)	1	子育て支援		項	2	児童福祉費	
	施策の方向	(6)	保育の充実		目	6	保育所費	
関連する計画等		羽曳野市次世代育成支援計画(後期計画)		事業	3	保育所運営		
事業の目的		対象(誰を・何を)		作成部署		保健福祉部 子育て支援課		
		羽曳野市立保育所(5園)		連絡先		072-958-1111 内線 1231		
		意図(どういう状態にしたいのか)						
		保育に欠ける児童の保育の実施及び園の安全な運営のために施設管理を行う。						
事業の内容		児童福祉法24条および羽曳野市保育園における保育に関する条例に基づき、保護者の就労や病気等の理由により、保育に欠ける乳児または幼児の保育を実施するため、市立保育所を5園運営している。						
根拠法令等		児童福祉法 羽曳野市立保育園条例 羽曳野市保育園における保育に関する条例						
事業開始時期		☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度 ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている						
事業開始時からの状況変化		少子化による就学児童数の減少が続くなか、社会・経済情勢の変動と共に、女性の社会進出、家庭の経済状況による共働きの増加等で、保育に対するニーズは上昇している。						
市民や議会の要望		公立保育所の民営化や統廃合について、意見が出ている。						
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他		委託内容				

区 分		21年度	22年度	23年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		60,366	85,038	100,852
人件費【2】 (千円)		929,100	798,900	750,300
職員数	正規職員	89.00 人	77.00 人	69.00 人
	再任用職員	4.00 人	5.00 人	7.00 人
	嘱託職員	41.00 人	30.00 人	38.00 人
	臨時職員	86.00 人	90.00 人	82.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		989,466	883,938	851,152
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)	112,304	102,860	102,900
	一般財源 (千円)	877,162	781,078	748,252
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 年間延べ在籍児童数	人	7,599	6,964	6,700
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		130,210 円	126,930 円	127,038 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		8,320 円	7,487 円	7,214 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	定員充足率	%	定員に対する入所児童数の割合	目標	100	100	達成率(%)	100
		(式) 入所児童数÷定員×100			実績	90	90	90.0%	
	②	入所申込人数	人	入所希望児童数から、公立園に対するニーズを把握する	目標	200	200	達成率(%)	200
		(式) 公立保育所を第1希望とする人の数			実績	156	152	76.0%	

